

6月は環境月間です

わたしたち一人ひとりが、できることから取り組み、水と緑に恵まれた大磯町を守りましょう。

わたしたち
に
できる
こと



食器やフライパンの
油污れは、ぼろ布やいらぬ紙で
拭き取ってから洗う

食器洗いや洗濯などでは
石けんを利用する

できるだけ、歩いたり
自転車、バス、電車を
利用する

買物をする時には
買物袋を持参する

食材は無駄なく使い、
食べ残しをしない

洗濯にはお風呂の
残り湯を使う

車を利用するとき、
駐停車中は
エンジンを切る など

◎問い合わせ 環境美化センター ☎(72)4438

町では、河川・海域などの水質や大気の状態を把握するために環境調査を実施しています。
平成16年度の各調査結果は次のとおりでした。

● 河川水質調査結果

河川名	測定地点	pH (単位：なし)	BOD (単位：mg/l)	SS (単位：mg/l)	n-ヘキサン (単位：mg/l)
池田排水路	富士白苑付近	8.2 (8.2)	13.0 (17.0)	8.0 (8.0)	0.8 (1.5)
三沢川	富士白苑付近	7.9 (7.8)	11.0 (16.0)	5.0 (11.0)	1.1 (1.4)
鳴立川	鳴立橋	7.7 (7.6)	21.0 (30.0)	8.0 (13.0)	2.2 (4.8)
血洗川	河口付近	7.9 (7.8)	9.2 (11.0)	5.0 (5.0)	0.7 (1.0)
葛川	プリンスホテル付近	7.8 (7.8)	6.2 (6.8)	6.0 (6.0)	0.5 (0.7)
不動川	川尻公園付近	7.9 (7.8)	7.4 (9.5)	6.0 (5.0)	0.6 (1.0)
長谷川	スーパーヤオマサ付近	7.8 (7.8)	5.1 (12.0)	7.0 (21.0)	0.5 (0.7)
谷戸川	大磯ローンテニスクラブコート付近	7.8 (7.8)	11.0 (9.0)	8.0 (6.0)	0.6 (0.9)
環境基準	—	6.5~8.5	5.0 以下	50.0 以下	—

※数値は年度内平均値、()内は前年度測定値

● 海域水質調査結果

大磯港	pH (単位：なし)	COD (単位：mg/l)	DO (単位：mg/l)	n-ヘキサン (単位：mg/l)	大腸菌群 (単位：MPN/100ml)
中央	8.3 (8.2)	2.0 (2.8)	6.7 (7.3)	0.5未満 (無検出)	11.0 (1,300)
漁港	8.3 (8.2)	2.5 (2.3)	7.0 (6.8)	0.5未満 (無検出)	9.3 (790)
港外	8.3 (8.3)	2.1 (2.6)	7.0 (7.0)	0.5未満 (無検出)	22.0 (220)
環境基準	7.8~8.3	2.0 以下	7.5 以上	無検出	1,000以下

※数値は年度内平均値、()内は前年度測定値

● 二酸化窒素濃度調査結果

測定地点	単位：ppm
役場南側	0.028 (0.015)
図書館前	0.020 (0.010)
国府支所	0.023 (0.016)

※数値は1時間値の日平均値、()内は前年度測定値

◎環境基準：0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

◎測定方法：ザルツマン試薬を用いる吸光度法

◎採取時間：12:00~翌日の12:00までの24時間

用語の解説

◎ pH (ペーハー・水素イオン濃度)

溶液中の水素イオン濃度を表す記号で水素イオン指数ともいう。pHは、0から14まであり、7が中性、7を超えるとアルカリ性、7未満が酸性となる。

◎ BOD (生物学的酸素要求量)

水中の有機物質が一定条件のもとで微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。

◎ COD (化学的酸素要求量)

水中の有機物質が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量。

◎ SS (浮遊物質)

水中に懸濁している固体や浮遊固形物。

◎ DO (溶存酸素量)

水中に溶け込んでいる酸素の量。きれいな河川は通常7~10 mg/l程度である。

◎ n-ヘキサン (ノルマルヘキサン抽出物質)

水中に含まれている比較的揮発しにくい油状物質の量。

◎ 大腸菌群

人畜の排泄物などによる汚れを知る尺度で、各消化器系病原菌によって汚染されている可能性が高い。

◎ ppm

濃度の単位で、100万分の1を表す。

◎ 環境基準

人間の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。(いわゆる規制基準ではない。)